

平成26年度 連携・協力事業の実施状況について

教育課題研究専門部会

【プロジェクト名】 先進的 ICT 利活用教育推進事業

1 プロジェクトの目的・概要

佐賀県が進める ICT 利活用教育の方針と大学内の研究領域を踏まえ、電子黒板、タブレット PC 等、ICT を利活用した協働学習支援やアクティブラーニングなど、新たな学習環境、学習デザインとその評価等について教育工学的知見を基に如何に学習活動に組み込むかを研究していく。また、大学と県教委が連携して、ICT 利活用教育における人材育成、教材コンテンツ開発、システム開発等についても検討する。それらの検討、開発、実証研究を佐賀県内の学校や、附属学校園と共同で行い、現職教員、教員志望者の研修支援としても活用し、先進的な ICT 利活用教育の推進を図るものとする。

2 平成26年度の実施状況

佐賀県内で環境整備が進む学校現場や教員と直接、協働的に連携することで ICT 利活用教育の研究と研修支援が進むものであり、実のある実践材料が教材コンテンツ開発等、次の研究課題への布石になるものとする。また、学校現場 ICT 支援員の研修に関してもその重要性から教材作成や教員支援の視点から連携していく。

佐賀県では、文部科学省や総務省、大学、教科書会社、IT 企業等からの支援をいただきながら、県教育委員会と市町教育委員会とで連携して、全県規模で「先進的 ICT 利活用教育推進事業」に取り組んでいる。

特に、平成26年度からは、県立高校でも全校で学習用パソコンを導入、県立学校全体で本格的な ICT 利活用教育がスタートしたが、本年度は「先進的 ICT 利活用教育推進事業」に係る成果発表会やプレゼン大会、佐賀大学の教員免許更新講習などで、県と佐賀大学との連携・協力を深めることができた。

(成果)

- (1) 第1回「先進的 ICT 利活用教育推進事業」に係る成果発表会
7月7日(月) 場所：佐賀市文化会館
- (2) 第2回「先進的 ICT 利活用教育推進事業」に係る成果発表会
11月7日(金) 場所：佐賀市文化会館
- (3) 高校生 ICT 利活用プレゼンテーション大会(プレ大会)
12月7日(日) 場所：佐賀市文化会館
- (4) 佐賀大学教員免許更新講習への講師派遣「教育の最新事情」(6月～8月)
- (5) 第10回青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム in 佐賀
10月8日(水) 10:00～16:15 場所：佐賀市 アバンセ Kodomo2.0

- 内閣府、佐賀県こども未来課、ITサポートさが、佐賀大学文化教育学部
- (6) ネットの安全・安心ポスターコンクール実行委員会 場所 メートプラザ Kodomo2.0
2月14日(土)表彰式 佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀県高度情報化推進協議会、
佐賀県ネットワーク・セキュリティ対策協議会、ITサポートさが、佐賀大学文化教育学部
- (7) 小中学校 情報モラル学習 9月～12月 Kodomo2.0
晴田小学校、牛津小学校、岩松小学校、桜岡小学校、芦刈小学校、三日月小学校
小城市教育委員会、ITサポートさが、佐賀大学文化教育学部
- (8) 教員採用試験支援プロジェクトにおいて、学生のための電子黒板を用いた模擬授業練習
を行い、現場教職員にも参加を依頼し適切な活用法、指導方法を教示していただいた。
- (9) 佐賀県先進的 ICT 利活用教育推進協議会外部委員、DIS School Innovation Project 実
証研究協議会委員等に従事した。
- (10) 教員免許更新講習や10年経験者研修において研究経緯を公開し、学習者用情報端末と電
子黒板を用いた活用法を教授した。
- (11) 佐賀県内高校生の文科系活動発表会「クリエイティブ高校生エバンジェリストミーティ
ング」を行った、2月15日 佐賀大学大講義室、佐賀新聞社
- (12) 「ICT 利活用推進を図る教職員研修プログラム」佐賀県教育センターとの共同研究
- (13) 附属学校園や学部を導入された電子黒板やタブレット等 ICT 教育システムの利活用
- (課題) 事業の数は増加しているが、先進的な事業活動の前提に立ち、研究部分の継続性や事
業間の連携等も計画していく必要がある。

3 今後の予定等

佐賀県内で環境整備が進む学校現場や教員と直接、協働的に連携することで ICT 利活用教育の研究と研修支援が進むものであり、実のある実践材料が教材コンテンツ開発等、次の研究課題への布石になるものとする。また、学校現場 ICT 支援員の研修に関してもその重要性から教材作成や教員支援の視点から連携していく。

平成27年度については、国を含め、佐賀県教育委員会と佐賀大学との連携を深め、新たな実証研究にも着手することに準備を進めているが、引き続き、佐賀大学と連携・協力を深めていく予定である。

また、佐賀県は教員採用選考において実技試験に ICT 機器の操作を取り入れていることから、引き続き、学校現場で必要とされる教職員の育成のための連携が重要である。今後は ICT 利活用教育を中心とした次代の佐賀県教育を担う教員の育成においても、さらに連携を充実させていきたい。

具体的な実施計画案

- (1) ICT 機器を使った「授業デザイン」に関する研究と公開、指導、支援、評価。
- (2) 現場教員向けの研修会の開催、校内、校外研修への支援。
- (3) 産学官における教材コンテンツ開発、システム開発等の研究。
- (4) 特別支援教育における ICT 機器の利活用、障がい種に応じた機器やアプリの選定や個に応じた指導事例の紹介、指導、支援。
- (5) 教職を目指す学生支援として具体的な養成プログラムの検討。

- (6) 情報モラルの深化を目指す表現学習による支援。
- (7) 情報メディア表現力（身体表現、情報 デザイン）育成カリキュラムの設計。
- (8) 学校現場 ICT 支援員の通年研修（教材作成、教員支援）の共同研究。
- (9) 「ICT 利活用推進を図る教職員研修プログラム」佐賀県教育センターとの共同研究。
- (10) 第1回「先進的 ICT 利活用教育推進事業」に係る成果発表会
6月9日（月） 場所：佐賀市文化会館
- (11) 第2回「先進的 ICT 利活用教育推進事業」に係る成果発表会
12月11日（金）場所：佐賀市文化会館
- (12) 高校生 ICT 利活用プレゼンテーション大会
11月7日（日） 場所：佐賀市文化会館
- (13) 佐賀大学教員免許更新講習への講師派遣「教育の最新事情」（6月～8月）
- (14) 生徒・保護者対象の ICT 機器操作体験会（11月～12月）

以上の検討、開発、実証研究を佐賀県内の学校や、附属学校園と共同で行い、現職教員、教員志望者の研修支援としても活用し、先進的な ICT 利活用教育の推進を図るものとする。